

■ ガバナーメッセージ

「誰もが健康である世界」私たちの努力で達成しましょう

◎国際ロータリー第2590地区 ガバナー 金子 大

去る11月9日と10日、パシフィコ横浜にて地区大会が開催されました。ご参加くださったロータリアンそしてご家族の皆様方には深く感謝を致します。また、ホストクラブとしてその任に当たった横浜中ロータリークラブ、及びコ・ホストクラブとしてご協力頂いた9クラブの会員の皆様、関係者の皆様、大変お疲れ様でした。「ロータリアンのロータリアンによるロータリアンのための地区大会」を、無事終えることができたことを誇りに思っております。

§

このような責務を果たす上での重圧は並大抵のものではありません。まさに健康あってのことだと思います。折しも12月は「疾病予防と治療月間」に当たります。私たちの日本は幸いなことに保健医療制度が発達し、健康のためのインフラも整備されています。しかし世界に目を転じますと、基本医療すら受けることのできない人々は4億人とも言われています。うち数百万人が病気で苦しみ、貧困を強いられている状況です。

ロータリークラブが疾病の予防と治療に力を注ぐのは、まさにこのためです。病気の蔓延や医療不足に悩む地域社会に仮設クリニックや献血センター、研修施設を作ったり、医師と患者と政府が協力できるインフラを設計したり、ロータリアンは世界中で人々がより良い医療を享受できるよう支援を行っています。

また施設だけではなく、医療従事者への研修、病気や衛生習慣に対する市民への啓発や指導なども含め、世界で毎日数百ものプロジェクトを実施しています。

§

これらのプロジェクトや活動に補助金を提供しながら、疾病の予防と治療を支援しているのがロータリー財団です。いくつかの例を挙げてみましょう。ガーナでは、国内人口の80%以上にきれいな水を提供しギニア虫感染症を予防しています。リベリアでは、妊娠初



期の女性たちへのHIV検査を支援し、2年間でHIVの母子感染を95%減らすことを目指しています。これらのためにロータリーがこれまで授与した補助金は6500万ドルに上ります。

さらに、ポリオを世界から撲滅する活動でもロータリーは大きな役割を果たしてきました。1985年にロータリークラブがポリオ撲滅活動を立ち上げて以来、発症数減少率は99.9%となっています。現在、野生型ポリオウイルスの常在国はわずか3か国を残すのみとなりました。それだけではなくエボラ出血熱など他の疾病の追跡システムにも活用できるインフラも構築されています。

§

今日本は歴史上類を見ない高齢化が進行しています。年齢を重ねるだけではなく、いかに健康年齢を高めるかが、大きな課題です。そんなことすら夢のようにしか思えない世界を、少しでも良い方向に導けるようロータリアンが「奉仕の精神」を以て地域社会のために貢献し、その集合体が地球全体に広がっていくことを願ってやみません。